

館山の遺産や風景描く

東葛高
美術部

研修旅行の成果披露

青木繁「海の幸」記念館がある館山市の小谷家住宅で、県立東葛飾高校美術部(柏市)による初の作品展が開かれている。研修旅行で館山市を訪れた部員が市内でスケッチした成果である文化遺産や自然風景の絵画22点がずらりと並んでいる。11月5日まで。

同校は2012年から、総合学習の一環で1泊2日の研修旅行を実施。希望する生徒を募り、館山で文化



青木繁「海の幸」記念館・小谷家住宅に展示されている県立東葛飾高校美術部の絵画＝館山市

財保護を進めるNPO法人案内を受け、赤山地下壕(こ安房文化遺産フォーラムのう)、かにた婦人の村など

を巡る。

美術部の生徒は毎年参加しており、今回の作品展では空襲から戦闘機を守った掩体壕(えんたいこう)や布良崎神社、海辺の景色などを若い伸びやかなタッチで描いた。さらに、明治期の画家である青木繁の代表作「海の幸」と「わだつみのいるこの宮」の同寸大模写作品も近くの安房自然村で展示している。

美術部長の2年生、原田雅大さん(16)は「昨年初め

て館山に来た。海がきれいで感じたままを描いた。絵の場所が分かる地元の人に見てもらいたい」と話した。1年生の柴木奨さん(15)は「赤山地下壕の地層がきれいだった。今後、描いていけたら」と意気込んでいた。

同館は土日開館で、平日は10人以上の予約で見学可。入館料は一般200円、小中高生100円。問い合わせは同館☎090(3434)3622。